



子どもの可能性を伸ばすために 私達大人にできること

校長

毎日の積み重ねによって、子どもは一日一日成長しています

子どもは学校に登校すると、ランドセルから教科書やノートなどを取り出し机の中に整頓します。宿題や自主学習などの提出物は、決められた場所に提出します。その後低学年の子どもは、花や野菜の水やりと観察のためにベランダに行き活動します。中・高学年の子どもは、係・当番活動や委員会活動に仲間と協力しながら取り組みます。ひととおりの活動が終わると自分の席に着き、朝学習や読書を始めます。毎日登校後に行っています。

学年が上がると自分で優先順位を決めながら、見通しをもって活動を進めていきます。しかし、低学年の内は、途中で発見したもの・こと・ひとに夢中になり、時間を費やしてしまうことも多くあります。それでも、自分がやらなければならない学習道具の整頓や植物の世話は忘れず、最後までしっかり取り組み終わらせています。毎朝の積み重ねが子どもたちを着実に成長させています。子どもは実にたくましく、自分で自分を成長させていく力を秘めています。

毎日の朝の活動は、決まっていることなのだから、できて当たり前だと大人は思います。ですが、それは経験を積んできた大人だから言えることで、今まさに経験を積んでいる子どもにとっては、毎日が学びの場です。特に一年生にとっては、初めて体験することがたくさんあり、この4か月間は特別な毎日だったと思います。間違いなく、子ども一人一人が一日一日成長しています。

子どもに寄り添いたいです

子どもの学校生活には、判断に迫られる場面がたくさんあります。一人で考えて判断する場面、友達と相談することで判断できる場面、複数の考えから選択する場面、複数の考えを組み合わせる必要がある場面など、多様な場面があります。大人でも判断に迷う場面は多くありますが、大人は多くの経験から判断をする規準（あるいは基準）を持ち合わせているため、判断に時間がかからなくなります。しかし、子どもには、一つ一つ正面から向き合って考えなければならない場面が、まだまだたくさんあるのです。考えている時間も内容も子どもの財産となり、ゆくゆくは自分なりの確固たる判断規準（あるいは基準）として身に付けていくのです。だからこそ、子どもには「時間」が必要です。私達大人は、子どもが考え判断し行動していく時間を、上手くいかないときは作戦を練り直す時間を、確保し見守ることに努めなければならないと思います。

子どもの取組を見守り、認め、褒めてあげてください

夏休みは、7/25（土）～8/25（火）の32日間あります。保護者の皆様には、「自分で考えて決め、行動する。何とかなる、やってみよう」とする子どもの背中を見守り励ます夏休みにしてほしいと思います。子どもの話に耳を傾け、自分が子どもだった頃を思い出しながら、一緒にアイディアを考えてあげてください。時にはいくつかのアイディアをそっと並べ、子どもが選び実行できるように助けてあげてください。

子どもと一緒にあって、楽しい夏休みになることを願っています。

学校教育ビジョンで目指す3つの資質・能力
「可能性を伸ばす力」「尊重し合う力」「挑戦する力」について、
運動会を振り返って、子どもたちが自分の成長を確かめました。
※子どもたちが振り返りカードに書いたものの一部を掲載します。

1年生

たまいで、おもいきりたまをなげました。2ねんせいのことも、おおきなこえでおうえんしました。すごたのしかったです。

(尊重・挑戦)



1年生

ぼくは、50メートルそうをがんばりました。まっすぐゴールをみて、あいてがくるかたしかめました。あいてがちかついてきたので、はやくはしりました。2いになってうれしかったです。(可能性・挑戦)

2年生

みんながおうえんしてくれたから、力が出しきれました。ときょうそうでは、がんばってはしりきれました。(可能性・挑戦)



2年生

玉入れでは、かごをねらって玉をなげたら、玉がたくさん入ってうれしかったです。みんなで、がんばったら赤ぐみがかつことができました。(尊重・挑戦)

3年生

うんどう会ではじめて、2番をとれて、うれしかったです。

あと、みんなで大きな声をだして、おうえんしたら、おうえんしょうももらえてうれしかったです。(可能性・尊重・挑戦)



3年生

友だちががんばってはしっていたり、80mそうで2いをとれたりしたことがうれしかったです。まけたけどいっしょうけんめいきょうぎができてよかったです。

(尊重・挑戦)

4年生

玉入れや徒競走のとき、ぼくたちが応えんすると応えんせきのみんなも大声で応えんしてくれて、とてもうれしかったです。

ぼくが80m走を走るとき、「がんばれ。」と言ってくれた人がいて、やる気が出ました。

応えんでは、声が出なくなりそうでした。でも、がんばって声を出しました。けっか、まけてしまったけれど、来年はかならず勝ちます。(可能性・尊重・挑戦)



4年生

80m走では、かんとうだったけどうれしかったです。はじめてわたしより速い人と走って、さいごに、ほんのすこしのところで三等をとられてしまいました。1、2、3年生のころは、1等、2等でした。はじめてわたしより速い3人で走れて、とてもいい思い出になりました。(尊重・挑戦)

5年生

うれしかったことは徒競走で1位になれたことです。練習のときはビリだったけど、当日は自分の力を出し切って1位になることができて、とてもとてもうれしかったです。

また、リレーも白バトンで1位をとれて、とても思い出にのこる運動会になりました。来年の運動会もフルパワーで走ろうと思います。

(可能性・尊重・挑戦)



5年生

リレーの時に6年生が、自分のチームが負けていても最後まで全力で走り切っていてすごいなと思いました。最終的に負けてしまったことはくやしかったけど、自分が全力で応援して、最後まで全力で走り切ることができて、楽しい運動会になりました。

(可能性・尊重・挑戦)

6年生

運動会での結果は残念だったけど、今年の運動会は6年生がとても全力でやっていました。競技では、失敗してもだれのせいにもしなかったし、今年の運動会は一人一人が輝く運動会でした。

(可能性・尊重・挑戦)



6年生

運動会で改めて気づいたことは、何事も最後まであきらめないことが大事ということです。

とくにリレーでは、黄色が最下位だったけど、ぼくはチームのために最後まで走りました。結果的にはだめでしたが、みんなの全力を保護者のみなさまに見せることができました。

結果はギリギリ白組が勝ちました。それでも、赤組は白組にものすごくリスペクトしていました。6年間運動会に出て、一番思い出に残った運動会になりました。(可能性・尊重・挑戦)



6年生

今年は得点係の図書委員で去年よりとてもいそがしい仕事だったけど、同じ委員会の人と協力して、やりとげることができたし、楽しい仕事だと思いました。

応援では、リレーが一番全力で応援できたと思います。閉会式では、ちょっとのどがいたいぐらいでした。今年で最後の運動会だったけど、くいなく笹口小学校の運動会を終わることができました。(可能性・尊重・挑戦)

6年生

応援合戦では、応援団としてみんなを応援賞に導けてうれしかったです。最後まで一緒に応援してくれたみんなにも感謝したいです。

リレーでは、足が痛くて全力を出せるか自信がありませんでしたが、みんなが「全力でがんばれ」と応援してくれたので、全力を出して優勝できました。W優勝できてうれしかったです。(可能性・尊重・挑戦)



(編集等：笹口小学校 評価・発信委員会)

笹口小学校ブログ



随時更新しています！

スマートフォンからパソコンからぜひご覧ください。

QR コード



URL <https://blog.city-niigata.ed.jp/keyaki-c/>

